

2008.12

NO.18

LETTER

目 次

- ◆ 向島保育園おひさまプロジェクトが始まりました！ (大西啓子)・・・2
- ◆ ‘08夏まつり 自転車で電気をつくろう！ (深川佳子)
ぐりふぁん特製紙芝居が完成しました！ (野口真由美)・・・3
- ◆ 認定 NPO 法人ってなんですか？ (藤野正弘)・・・4
- ◆ 京(みやこ)グリーン電力制度試行が始まって…
2008年総会報告 (大西啓子)・・・5



特定非営利活動法人
きょうとグリーンファンド

おひさまプロジェクト2008年

向島保育園おひさまプロジェクトが始まりました！

向島保育園は、昭和49年設立された定員150名の保育園、京都市伏見区の宇治川の南にあります。昭和10年に農繁期の託児施設として開設されたという前身があり、その時から数えると70数年の歴史がある施設で、親子3代にわたって通園した方もきっとおいでになるでしょう。

「おひさま発電所」をつくりたい、という申し出をいただいてから、園長先生や職員の方々は事前に他のおひさま発電所を見学される力の入れよう、きょうとグリーンファンドのおひさま発電所の存在が少しは京都で認めて頂けるようになったのかと、とても嬉しく思いました。

発電設備は10kW規模で去年のつくし保育園と同様にCIS薄膜系の太陽電池です。シリコンを使ったものより少し色が黒く、屋根の上では目立ちにくい感じがします。

10月からは、多くの皆さんに節電や省エネとともに寄付を呼びかけるキャンペーンが始まりました。地域のお店には「みんなでつくろう！おひさま発電所」のポスターが貼られていることでしょう。地域みんなで省エネをしながら「子どもたちのために」と力を合わせておひさま発電所をつくろう、という思いが少しずつ形になっていくようです。親子祭りで、太陽のエネルギーで動くプーさんや手回し発電でバック転をするわんちゃんから、なかなか離れようとしない子どもたちに接すると、頑張らなくちゃと力が入ります。子どもたちには、未来につながる自然エネルギーを是非とも使って欲しいと思います。

(大西啓子)



向島保育園の園庭



太陽光パネル

自分で電気をつくってみよう！

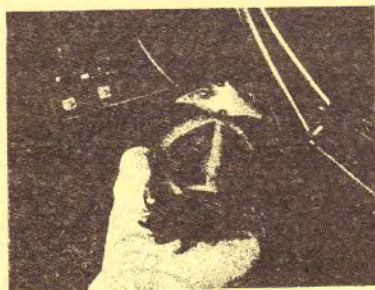
～'08 夏まつり～

7月12日あけぼの保育園、7月26日大宮保育園で夏まつりがありました。今年は「自分で電気をつくってみよう…！」ということで自転車発電機をお借りして、夏まつりに参加していた人たちに挑戦していただきました。

自転車をこげば扇風機が回ったり、きらきらと電飾が光ったり…。でも、こぐのを止めるととたんに消えてしまいます。まだ暑い夏の夕暮れ、みなさん汗をかきながら、参加してくださいました。

大人用の自転車がこげない子どもたちは、手でペダルをまわして、電球をつけていました。電気を作るのって大変だよね…、大切に使わなくちゃね！

(深川佳子)



手でペダルを回しています。



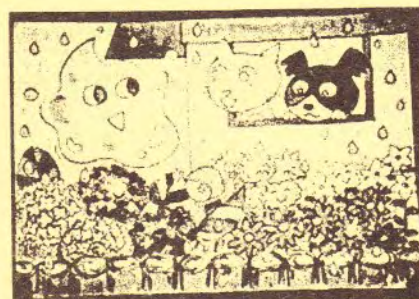
おとうさんが発電に挑戦！

ぐりふあん特製紙芝居の完成！

～雨水の巻～

保育園の子どもたちにおひさま発電所とつながる様々な自然環境を身近に感じてほしい、その思いからきょうとグリーンファンドで紙芝居を作ることになりました。まず第一弾としては、雨水の紙芝居を製作しました。私自身、初めての紙芝居作りのため戸惑うこともありましたが何も無いところから何かを創りあげていく過程はワクワクの連続でした。私達が伝えたいことはいっぱいあっても子どもたちを退屈させては意味がありません。話の流れがスムーズにつながるのはどの順番か、一枚の絵に適度なセリフはどのくらいかなど、試行錯誤したあげく登場人物のぐりにゃん、ぐりわんのペーパーサートもあわせて作り、現在の「ぐりにゃんの雨だいすき」が出来上がりました。そして実際に、大宮保育園とあけぼの保育園で先生方に上演していただきました。課題も見つかりましたが、シリーズ第1弾としていいスタートができたのではないかと思います。ぐりにゃんとぐりわんシリーズの紙芝居は今後も続いていく予定です。上から目線ではない、子ども達と同じ視点を持ったぐりにゃんやぐりわんが子ども達にとって、エコの精神を身につけるきっかけになってくれたら、と願っています。

(野口真由美)



「ぐりにゃんの雨だいすき」の一場面

認定NPO法人ってなんですか？

みなさん、はじめまして。今年の7月からきょうとグリーンファンドの理事を仰せつかっています、きょうとNPOセンターの藤野と申します。グリファンさんとは「認定NPO法人」をとる過程でともに汗を流してきましたので、この機会をお借りしてこの制度のことをお話ししたいと思います。

認定NPO法人とは、NPO法人のうち、一定の要件を満たす団体だけが、国税庁長官の認定を受けることができる制度です。この制度の趣旨は、ずばり「NPO法人への寄付を促す」ことにあり、そのことによりNPO法人の活動を支援するという大変“ありがたい”制度です。そんなにありがたいものなら多くのNPOが利用すればいいのですが、NPO法人が全国で35000以上ある中で、たったの89法人しかありません(2008年10月現在)。その理由は、認定の要件が厳しいからです。グリファンでも3年以上にわたりチャレンジしてきて、ようやく今年の5月に認定されました。事業内容が適正で組織運営や経理などの内部管理がしっかりしていて、かつ多くの市民による支援があることが認められた結果なのです。

それでは認定NPO法人になるとどんなメリットがあるのでしょうか？一番大きいのが寄付した人に対して税制上の優遇措置があるということです。個人でいえば所得税の計算において寄付金控除の対象となり、法人であれば法人税の計算において、損金算入限度額が一般の倍になります。つまり日赤やユニセフに寄付するのと同じ税制優遇措置が適用されます。そのような大きな団体に寄付をしても、自分が寄付したお金がどのように使われたかはなかなか見えません。その点グリファンに寄付すれば使い道ははっきりする上に、税制優遇が受けられるのです。お叱りを受けるのを覚悟でいえば、出身学校や名の通った大きな団体に寄付するくらいなら、そのお金をグリファンに寄付しましょう。その方がグリファンの活動が活発になり、みなさんの意思が生かされる結果となります。

事務局に聞きますと、苦勞してとった割には寄付が増えていないとのこと。広報が十分でないこともあります。これを機会に寄付が増えるようにしていきたいものです。企業の多くはNPOのことをよく知りません。変なNPOに寄付をしておかしな使われ方をされたら困ると考えています。その点グリファンは国税庁長官からある種の「お墨付き」を得ていますから、寄付先としては最適です。みなさまのお知り合いの企業の方にもこのことをお伝えいただき、グリファンの活動を応援していただきますようお願いいたします。もちろんみなさまからの寄付も大歓迎です!!

(藤野正弘)

京（みやこ）グリーン電力制度試行が始まって・・・

ぐりふあんレター17号で、京（みやこ）グリーン電力制度試行が始まったことをお知らせしましたが、今回はその後の動きを少しご報告します。

●地産地“省”のエコツーリズム

プリウスプラン

JTB 西日本、トヨタレンタリース京都からの提案で実現したプラン。レンタカープリウスを利用する際に温暖化防止のための寄付が付いているものです。京都観光で温暖化防止に貢献でき、シリアルNo.の入ったステッカーももらえます、という商品。寄付のうち300円がおひさま基金に寄付されます。動きはまだこれからですが、このようなプランの対象が、どんどん広がっていくといいですね。

●複合機の使用に伴うカーボンオフセット

オフィス向け総合商社(株)ウエダは、複合機（コピーやファックスなどの機能がついた）の使用時に、消費される電力から排出されるCO₂を京グリーン電力証書でオフセットする仕組みを付けて販売することになりました。従って、この複合機を動かす際の電力はグリーン電力であるとみなされるわけです。証書代金の一部は、おひさま基金に寄付されることになっています。



シリアルNo.入りのステッカー

京グリーン電力証書制度の試行が昨年からはまりましたが、この制度にからめて様々な仕組みが出来ました。結果的には、すでにうみ出された電力の「環境付加価値」の証書化を仲立ちに、企業や行政が京都で自然エネルギーを広げる動きに加わることになります。さらに大きな展開を期待したいと思います。

2008年総会報告

08年6月7日（土）10：30から京エコロジーセンター／第一会議室で開催した総会には、12名（委任状16名）の参加者がありました。07年度事業報告、決算報告、会計監査報告のあと08年度事業計画、予算、役員改選も案どおりとなりました。会計については、認定NPO法人として認定を受けたため、今まで以上に厳格な処理が求められますし、この制度をどのように活用していくかは大きな課題でしょう。役員改選では、新しく藤野正弘さん、中地重晴さんのお二人が理事に就任してくださいましたが、きょうとグリーンファンド設立の呼びかけをされたひとりでもある龍池妃都美(前)副理事長が退任されることになり、大変残念です。

総会後は「最新技術と環境学習～最新技術を環境学習に生かす」のテーマでシンポジウム。京エコロジーセンター主催ではありますが、企画段階からきょうとグリーンファンドも深く関わり、全体コーディネーターは板倉理事長がつとめました。オムロンや昭和シェルソーラー、京都市教育委員会からの発表は多くの関心を呼び、京エコロジーセンターシアターは、前代未聞といわれるほどの盛況、エネルギーマネジメントシステムやCIS薄膜系の太陽光電池を環境学習の現場に効果的に活かしていければ、素晴らしいと思いました。

(大西啓子)

< ぐりふあん日誌 >

2008年

- | | |
|---|--|
| 5/01 陵ヶ岡保育園、グリーンカーテン植え付け | 8/07 ㈱ウエダとグリーン電力証書について打ち合わせ |
| 5/11 もえぎ幼稚園環境学習会参加 | 8/08 向島保育園打ち合わせ |
| 5/12 自然エネルギーWG | 8/09 大宅保育園訪問、説明と調査 |
| 5/13 事務局会議 | 8/25 自然エネルギーWG |
| 5/15 つくし保育園と協議(収支報告・確認書) | 8/27 木村事務所訪問、会計担当交代の件 |
| 5/17 第63回理事会 | 9/04 事務局会議 |
| 5/19 山科区大宅保育園、現地調査、面談 | 9/08 自然エネルギーWG |
| 5/20 つくし保育園環境学習(腹話術) | 9/11 JTB、トヨタレンタリースと打ち合わせ |
| 5/21 JTBとの協議 | 9/13 京都メディアフェスティバルWSに参加 |
| 5/22 総会資料発送 | 9/17 向島保育園打ち合わせ |
| 5/30 木村税理士と協議
陵ヶ岡保育園ワークショップ | 9/22 自然エネルギーWG |
| 6/04 市原寮訪問、面談 | 9/24 プリウスプラン、プレスリリース |
| 6/07 第64回理事会
2008年総会 | 10/2 KICS事務局に挨拶
国際ソロプチミスト京都-わかば来室 |
| 6/16 環境学習:腹話術/陵ヶ岡保育園
自然エネルギーWG
府庁NPO推進室で展示設営(~6/30) | 10/11 向島保育園親子まつり、啓発・展示 |
| 6/18 JTBとの協議 | 10/18 大宮保育園バザー/腹話術 |
| 6/20 環境学習:手作り紙芝居「ぐりにゃんの雨だ
いすき」/大宮保育園 | 10/23 事務局会議 |
| 6/24 カーボンオフセットシステム意見交換 | 10/24 グリーン購入ネットワーク全国大会、分科
会で事例報告、パネラーで参加 |
| 6/27 京都CSR研究会 | 10/25 陵ヶ岡保育園自然観察会(山科/天智
天皇陵) |
| 7/04 NEDO調査、つくし保育園 | 10/27 第66回理事会 |
| 7/07 会計処理について説明/木村税理士 | 10/31 つくし保育園ネイチャーゲーム |
| 7/12 あけぼの保育園夏まつり/自転車発電体験 | 11/04 京グリーン電力制度に関して夢窓幼稚園、
妙林苑訪問、自然エネルギーWG |
| 7/14 自然エネルギーWG | 11/07 京グリーン電力制度に関してあけぼの保
育園、春日野園訪問 |
| 7/16 北区地域活動支援事業について意見交換
(京エコロジーセンター) | 11/12 おひさま発電所の件で、アースガーデン
植月さんと面談 |
| 7/22 向島保育園と打ち合わせ | 11/15 グリーンカーテンプロジェクトまとめと反
省会 |
| 7/24 第65回理事会 | |
| 7/26 大宮保育園夏まつり | |

特定非営利活動法人(認定NPO法人)きょうとグリーンファンド

事務局 〒600-8104

京都市下京区五条通高倉西入る万寿寺町143

いづつビル6F (火~金 13:00~17:00)

TEL/FAX 075-352-9150

E-mail info@kyoto-gf.org

ホームページ <http://www.kyoto-gf.org>

